

祖母山縦走

【報告者】M原

【日時】2019年1月1日～1月2日

【天候】曇り時々晴れ

【参加者】Y川、M原

《コースタイム》

1日目(1/1) 尾平登山口(13:10)～9合目小屋(17:00)

2日目(1/2) 9合目小屋(07:10)～祖母山山頂(07:40)～障子岳(09:50)～古祖母山(11:00)～尾平登山口(13:40)

《報告》

皆様、あけましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。

新年早々、同期のY川氏と祖母山へ行ってきました。
ずっと行きたいなと思っていた山域にやっと思うことが出来ました。
(Y川、M原共に祖母山への入山は初めてでした)

1日目(1/1)

午前8時10分

Y川氏の職場がある福岡空港にて集合。

午後13時

道中トラブル(M原の不注意による)が発生するが、無事に尾平登山口に到着。

日没前に9合目小屋に到着することを目標にしていく為、素早く準備し出発。

登山口を5分程進み、吊り橋を渡ると尾根登りが続く。

途中吹き荒れる風に苦笑いを浮かべるが、新年早々登山できている喜びを噛みしめ黙々と脚を進める。

標高1,500mに来たところで、辺りが雪景色に変わってきた、どうやら昨晚雪が積もったようだ。

少しの積雪ではあるが、新雪を味わうことができた、年末年始の大寒波に感謝である。

特に危険個所もないので、登りはアイゼンを装着せずに進んだ。周りはガスで何も見えないが、日が暮れる前に無事に小屋に到着した。

どうやら小屋の中には誰もいないようだ、多数の人が小屋内にいることを予想していたので、テントを持ってきていたが、今回は小屋泊に決めた。

到着後すぐに晩御飯の準備を開始する。今回は冷えた体を暖める鍋である。

食担をして頂いたY川氏が慣れた手つきで準備してくれるので、私は火傷防止に鍋を持つ係を担当する。食事を終えるころであったろうか(18:30頃)、山小屋の入り口方向から声が聞こえる、もう一組小屋泊の登山者が到着した。



かなり遅めの到着だったのでビックリしたが、感じのいい登山者だったので少し会話をした後、我々は眠りについた。

今回は小屋にある毛布を利用させていただいたので、かなり快適に眠ることが出来た。

2日目(1/2)

午前6時過ぎ

予定通りの時間に目覚める。

小屋の外を見に行ってみるが、昨日と変わらずガスっている。

残念な気持ちになるが、朝食の準備(辛ラーメン)をする。

朝食を食べ終わり出発の準備をする。今日のルートは凍結の心配があったので、軽アイゼンを装着することで決定する。

無事に祖母山山頂に到着した後、本日の難関である山頂直下の岩場も難なくクリアした。

鹿と何回かすれ違いながら障子岳に到着した。障子岳に到着した頃から少しずつ晴れ間が見え始める。

雲の切れ間から古祖母山が見えた！これは天気も回復してきそうだ。

障子岳から古祖母山への道は、他の登山者ともすれ違う事もなく静かな登山を楽しむことが出来た。

稜線では、シカの影響なのか枯れてしまっている木々も多く、昨年行った大台ヶ原のようで少し祖母山のこの先が心配になったりもしたが、障子岳から古祖母山への稜線を気持ちよく歩くことが出来た。



障子岳から古祖母山を望む

下山ルートは、尾平越から尾平登山口に向かう破線ルートであったが、あまりお勧めしないルートであった。ピンクテープは少ないし、急斜面で浮石がかなり多い。二人で道を探しながらの下山でしたが、無事に怪我無く今年最初の山行を終えることが出来た。

天気も回復したので帰りに久住へ寄り道して、景色を楽しみ、年始の帰宅ラッシュで混む高速を回避して下道で帰ってきた。(神奈川出身のY川さんが何故か九州の下道に詳しい。)

今回もY川氏のお陰で楽しい山行になりました。事前に祖母山の状況を教えて頂いたS田さんにも感謝しております。本当に有難うございました。



稜線を歩くY川氏(後ろは古祖母山)